

定期作況報告（最終）

（第7号 令和7年11月20日現在）
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

1. 気象概況

《令和6年（2024年）》

11月：平均気温は0.3°C高く、降水量は平年の78%、日照時間は平年の89%であった。

12月：平均気温は2.1°C低く、降水量は平年の55%、日照時間は平年の106%であった。

《令和7年（2025年）》

1月：平均気温は1.8°C高く、降水量は平年の61%、日照時間は平年の112%であった。

2月：平均気温は1.6°C高く、降水量は平年の74%、日照時間は平年の84%であった。

3月：平均気温は1.0°C低く、降水量は平年の73%、日照時間は平年の73%であった。

4月：平均気温は0.2°C高く、降水量は平年の169%、日照時間は平年の68%であった。

5月：平均気温は0.5°C高く、降水量は平年の59%、日照時間は平年の105%であった。

6月：平均気温は2.6°C高く、降水量は平年の140%、日照時間は平年の113%であった。

7月：平均気温は2.6°C高く、降水量は平年の92%、日照時間は平年の97%であった。

8月：平均気温は1.2°C高く、降水量は平年の155%、日照時間は平年の78%であった。

9月：平均気温は2.2°C高く、降水量は平年の139%、日照時間は平年の104%であった。

10月：平均気温は0.6°C低く、降水量は平年の70%、日照時間は平年の99%であった。

本年の根雪終は4月8日で平年より2日遅く、積雪期間は4日短く、耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月22日で平年より5日遅かった（表1）。令和6年11月から令和7年10月までの気象は表2のとおりである。

以上、農耕期間の4～10月についてまとめると、平均気温は4月、5月が平年並で、6月、7月、8月、9月、10月がそれぞれ2.6°C、2.6°C、1.2°C、2.2°C、0.6°C平年より高かった。降水量は7月が平年並で、4月、6月、8月、9月が平年の139～169%と多く、5月、10月がそれぞれ平年の59、70%と少なかった。日照時間は5月、6月、7月、9月、10月が平年並で、4月、8月がやや少なかった。
5～9月までの積算値は、平年に比べて平均気温が218.1°C高く、降水量が47.5mm多く、日照時間が26.6時間多かった（表3）。

表1. 季節表

	初霜 (年.月.日)	降雪始 (年.月.日)	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	降雪始 (年.月.日)
本年	R6. 10. 10	R6. 10. 19	R6. 11. 29	R7. 4. 8	131	R7. 4. 30	R7. 4. 22	R7. 10. 20
平年	10. 10	10. 26	11. 23	4. 6	135	4. 24	4. 17	10. 25
比較	0	△ 7	6	2	△ 4	6	5	△ 5

注1) 本年は令和6(2024)～7(2025)年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は上川農試(比布町)の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終は旭川地方気象台による旭川市の観測値。平年は過去10か年の平均値。

4) △は、平年より“早”または“短”であることを示す。

表2. 気象表

年月／旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hrs)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
令和 6年 11月	上旬	4.3	5.0	-0.7	8.2	9.4	-1.2	0.7	0.8	-0.1	20.0	34.4	-14.4	5.0	6.3	-1.3	15.5	23.6	-8.1
	中旬	2.6	2.0	0.6	7.0	6.0	1.0	-2.5	-1.7	-0.8	35.0	37.1	-2.1	7.0	6.6	0.4	19.4	20.7	-1.3
	下旬	0.2	-0.9	1.1	3.4	2.6	0.8	-3.2	-4.7	1.5	23.5	29.3	-5.8	6.0	6.7	-0.7	20.3	17.6	2.7
平均または合計		2.4	2.0	0.3	6.2	6.0	0.2	-1.7	-1.9	0.2	78.5	100.8	-22.3	18.0	19.6	-1.6	55.2	61.9	-6.7
12月	上旬	-3.5	-3.1	-0.4	-0.5	0.2	-0.7	-7.5	-7.3	-0.2	14.5	24.2	-9.7	7.0	6.7	0.3	10.4	13.9	-3.5
	中旬	-7.1	-4.9	-2.2	-4.2	-1.6	-2.6	-11.8	-9.4	-2.4	19.5	24.6	-5.1	8.0	7.4	0.6	10.2	13.3	-3.1
	下旬	-9.8	-6.0	-3.8	-5.6	-2.7	-2.9	-15.1	-10.4	-4.7	6.0	23.5	-17.5	4.0	8.0	-4.0	23.9	14.7	9.2
平均または合計		-6.8	-4.7	-2.1	-3.4	-1.4	-2.1	-11.5	-9.0	-2.4	40.0	72.3	-32.3	19.0	22.1	-3.1	44.5	41.9	2.6
令和 7年 1月	上旬	-6.9	-7.7	0.8	-3.8	-4.0	0.2	-12.0	-13.0	1.0	14.5	15.8	-1.3	4.0	5.8	-1.8	13.3	16.9	-3.6
	中旬	-7.1	-8.2	1.1	-2.6	-3.8	1.2	-13.6	-13.7	0.1	8.0	9.9	-1.9	5.0	4.0	1.0	18.7	25.4	-6.7
	下旬	-4.5	-8.1	3.6	0.1	-3.8	3.9	-10.3	-13.6	3.3	1.5	13.5	-12.0	3.0	5.7	-2.7	47.3	28.3	19.0
平均または合計		-6.2	-8.0	1.8	-2.1	-3.9	1.8	-12.0	-13.4	1.5	24.0	39.2	-15.2	12.0	15.5	-3.5	79.3	70.6	8.7
2月	上旬	-5.8	-9.0	3.2	-1.1	-4.3	3.2	-11.8	-15.2	3.4	2.5	10.7	-8.2	3.0	4.9	-1.9	21.2	30.4	-9.2
	中旬	-5.6	-5.1	-0.5	-2.1	-0.9	-1.2	-10.8	-10.1	-0.7	18.0	17.5	0.5	7.0	5.5	1.5	22.2	27.8	-5.6
	下旬	-4.2	-6.2	2.0	0.3	-1.3	1.6	-11.3	-12.6	1.3	8.0	10.3	-2.3	2.0	3.9	-1.9	33.5	33.0	0.5
平均または合計		-5.2	-6.8	1.6	-1.0	-2.2	1.2	-11.3	-12.6	1.3	28.5	38.5	-10.0	12.0	14.3	-2.3	76.9	91.2	-14.3
3月	上旬	-5.2	-3.2	-2.0	0.3	1.7	-1.4	-11.4	-9.4	-2.0	0.5	18.9	-18.4	1.0	4.6	-3.6	52.8	39.4	13.4
	中旬	-1.2	-0.8	-0.4	3.3	4.1	-0.8	-6.0	-6.5	0.5	4.5	12.3	-7.8	2.0	3.1	-1.1	36.7	45.8	-9.1
	下旬	0.3	1.0	-0.7	3.9	6.3	-2.4	-3.7	-4.7	1.0	27.5	13.5	14.0	9.0	4.2	4.8	19.0	64.1	-45.1
平均または合計		-2.0	-1.0	-1.0	2.5	4.0	-1.5	-7.0	-6.9	-0.2	32.5	44.7	-12.2	12.0	11.9	0.1	108.5	149.3	-40.8
4月	上旬	3.1	3.3	-0.2	7.7	8.5	-0.8	-1.8	-2.1	0.3	1.0	12.2	-11.2	1.0	3.3	-2.3	19.6	58.3	-38.7
	中旬	7.7	5.7	2.0	13.6	11.9	1.7	2.7	-0.3	3.0	65.0	15.3	49.7	5.0	3.5	1.5	48.0	59.6	-11.6
	下旬	6.8	8.0	-1.2	12.8	14.3	-1.5	1.9	1.4	0.5	7.0	15.6	-8.6	3.0	3.4	-0.4	56.7	64.5	-7.8
平均または合計		5.9	5.7	0.2	11.4	11.6	-0.2	0.9	-0.3	1.3	73.0	43.1	29.9	9.0	10.2	-1.2	124.3	182.4	-58.1
5月	上旬	10.7	10.2	0.5	16.8	16.5	0.3	4.3	3.9	0.4	6.5	28.5	-22.0	4.0	4.1	-0.1	60.8	57.4	3.4
	中旬	15.3	13.4	1.9	22.0	19.8	2.2	8.6	7.0	1.6	10.0	19.2	-9.2	5.0	3.0	2.0	63.2	73.9	-10.7
	下旬	13.6	14.5	-0.9	20.4	20.7	-0.3	7.5	8.8	-1.3	29.0	29.0	0.0	4.0	4.9	-0.9	90.4	72.5	17.9
平均または合計		13.2	12.7	0.5	19.7	19.0	0.7	6.8	6.6	0.2	45.5	76.7	-31.2	13.0	12.0	1.0	214.4	203.8	10.6
6月	上旬	15.2	14.7	0.5	21.1	20.6	0.5	9.4	9.4	0.0	15.0	23.5	-8.5	3.0	4.1	-1.1	56.6	60.5	-3.9
	中旬	19.9	16.8	3.1	25.6	22.5	3.1	14.5	11.9	2.6	21.5	27.5	-6.0	3.0	4.0	-1.0	64.5	58.4	6.1
	下旬	22.0	17.9	4.1	27.8	23.3	4.5	16.3	13.2	3.1	87.0	37.5	49.5	4.0	4.2	-0.2	72.1	51.7	20.4
平均または合計		19.0	16.5	2.6	24.8	22.1	2.7	13.4	11.5	1.9	123.5	88.5	35.0	10.0	12.3	-2.3	193.2	170.6	22.6
7月	上旬	23.9	19.8	4.1	29.9	25.4	4.5	18.9	15.1	3.8	17.0	44.3	-27.3	1.0	3.9	-2.9	77.4	58.6	18.8
	中旬	23.4	21.5	1.9	30.5	27.5	3.0	18.9	16.8	2.1	87.5	29.9	57.6	4.0	4.0	0.0	47.3	62.4	-15.1
	下旬	24.8	23.1	1.7	30.1	28.7	1.4	20.6	18.5	2.1	23.5	65.4	-41.9	4.0	3.6	0.4	57.5	67.4	-9.9
平均または合計		24.0	21.5	2.6	30.2	27.2	3.0	19.5	16.8	2.7	128.0	139.6	-11.6	9.0	11.5	-2.5	182.2	188.4	-6.2
8月	上旬	23.3	22.3	1.0	28.9	28.2	0.7	19.3	17.7	1.6	24.0	62.2	-38.2	5.0	4.2	0.8	48.3	56.6	-8.3
	中旬	23.4	21.5	1.9	30.5	27.5	3.0	18.9	16.8	2.1	87.5	29.9	57.6	4.0	4.0	0.0	47.3	62.4	-15.1
	下旬	20.9	20.1	0.8	26.3	25.8	0.5	17.0	15.4	1.6	104.0	47.3	56.7	6.0	5.3	0.7	39.8	53.8	-14.0
平均または合計		22.5	21.3	1.2	28.6	27.2	1.4	18.4	16.6	1.8	215.5	139.4	76.1	15.0	13.5	1.5	135.4	172.8	-37.4
9月	上旬	23.9	19.8	4.1	29.9	25.4	4.5	18.9	15.1	3.8	17.0	44.3	-27.3	1.0	3.9	-2.9	77.4	58.6	18.8
	中旬	23.4	21.5	1.9	30.5	27.5	3.0	18.9	16.8	2.1	87.5	29.9	57.6	4.0	4.0	0.0	47.3	62.4	-15.1
	下旬	14.6	14.0	0.6	20.9	20.6	0.3	9.6	8.3	1.3	38.0	28.1	9.9	4.0	3.8	0.2	60.6	57.5	3.1
平均または合計		20.6	18.4	2.2	27.1	24.5	2.6	15.8	13.4	2.4	142.5	102.3	40.2	9.0	11.7	-2.7	185.3	178.5	6.8
10月	上旬	12.9	11.6	1.3	19.7	17.1	2.6	6.9	6.7	0.2	4.5	50.5	-46.0	2.0	5.6	-3.6	70.8	40.0	30.8
	中旬	7.6	8.4	-0.8	12.3	14.4	-2.1	2.8	3.0	-0.2	26.5	40.1	-13.6	6.0	5.6	0.4	31.5	44.9	-13.4
	下旬	4.1	6.5	-2.4	8.3	12.0	-3.7	0.5	1.8	-1.3	58.5	37.3	21.2	8.0	5.7	2.3	23.1	42.0	-18.9
平均または合計		8.2	8.8	-0.6	13.4	14.5	-1.1	3.4	3.8	-0.4	89.5	127.9	-38.4	16.0	16.9	-0.9	125.4	126.9	-1.5

注) 比布アメダス観測値。平年は過去10か年の平均値。

表3. 農耕期間積算値(5~9月)

農耕期間の積算値 道総研(比布)

期間	項目	平均気温(°C)	降水量(mm)	降水日数(日)	日照時間(hr)
5月上旬	本年	2,913.0	631.5	60	919.4
~	平年	2,694.9	584.0	62	892.8
9月下旬	比較	218.1	47.5	△ 2.0	26.6

注1) 比布アメダス観測値。平年は過去10ヶ年の平均値。

2. 作況

1) 水稻 やや不良

事由：播種は平年より3日遅い4月18日に行った。出芽の揃いは良好であった。

移植は平年より2日遅い5月21日に行った。移植時の草丈は平年に比べ0.6～1.0cm長く、第1葉鞘高は並から0.2cm長かった。葉数は並から0.4葉多く、茎数は平年並であった。苗100本当たりの地上部乾物重は、「ななつぼし」は平年並で「ゆめぴりか」では0.34g重かった。苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈はいずれの品種とも平年並であった。

移植後の5月下旬はやや低温であったが、日照時間は平年をやや上回り生育は概ね順調であった。その後6月上旬および中旬の気温は平年並から高かったため、6月20日の草丈はやや長く、葉数は平年並みからやや多い。茎数は平年並であった。

6月下旬から7月中旬の気温が高温で経過したため、生育はかなり早く進んだ。各生育期節は平年より早く、幼穂形成期は1～2日、止葉期は3～4日、出穂期は6～7日早かった。7月20日の草丈はやや長く、主稈の止葉葉数は平年並からやや多く、茎数は平年に比べて9～18%少なかった。

7月下旬以降は高温傾向であり、登熟は順調に進んでいる。成熟期の稈長はやや長く、穂長は平年並で、穂数は5～13%少なかった。

平年と比べて登熟期間の平均気温はやや高く、日照時間はやや少なかった。このことにより成熟期は平年より8日早く、登熟日数は平年よりやや短かった。稔実歩合は「ななつぼし」で平年より0.5ポイント、「ゆめぴりか」で1.9ポイント高かった。一穂粒数は平年並から7%多く、m²当たり稔実粒数は両品種とも平年の95%であった。登熟歩合はほぼ平年並であった。

精粒重は平年比95%であった。屑米歩合は「ななつぼし」で平年並、「ゆめぴりか」で平年より1.9ポイント高かった。精玄米千粒重は両品種とも1.0g重く、精玄米重は「ななつぼし」が66.7kg/a、「ゆめぴりか」が59.7kg/aで、各々平年比98%、95%とやや低収であった。玄米の検査等級は「ななつぼし」が1等、「ゆめぴりか」が1等下でいずれも平年より優った。

これらのことから、本年の作況は「やや不良」である。

表4. 水稻の生育および収量

品種名		ななつぼし			ゆめぴりか		
項目／年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期(月・日)	4.18	4.15	3	4.18	4.15	3
	移植期(月・日)	5.21	5.19	2	5.21	5.19	2
	幼穂形成期(月・日)	6.21	6.22	△1	6.21	6.23	△2
	止葉期(月・日)	7.06	7.09	△3	7.06	7.10	△4
	出穂期(月・日)	7.13	7.19	△6	7.12	7.19	△7
	成熟期(月・日)	8.27	9.04	△8	8.27	9.04	△8
	穂揃日数(日)	7	8	△1	7	8	△1
	登熟日数(日)	45	47	△2	46	47	△1
	生育日数(日)	131	142	△11	131	142	△11
移植時	草丈(cm)	15.3	14.3	1.0	14.8	14.2	0.6
	葉数(枚)	4.2	4.1	0.1	4.6	4.2	0.4
	茎数(本/m ²)	146	147	▲1	157	155	2
	第1葉鞘高(cm)	2.6	2.4	0.2	2.4	2.4	0.0
	地上部乾物重(g/100本)	4.68	4.66	0.02	5.00	4.66	0.34
本田生育	地上部乾物重/草丈	0.31	0.33	▲0.02	0.34	0.33	0.01
	葉数(枚)	6月20日 7月20日 止葉葉数	8.3 10.3 10.3	0.2 0.2 0.2	8.9 10.9 10.9	8.4 10.5 10.5	0.5 0.4 0.4
	茎数(本/m ²)	6月20日 7月20日	557 655	19 ▲64	589 688	611 839	▲22 ▲151
	草丈(cm)	6月20日 7月20日	45.3 92.9	3.8 7.8	41.3 89.4	38.6 84.3	2.7 5.1
	稈長(cm)	75.3	69.4	5.9	68.5	66.2	2.3
成熟期	穗長(cm)	17.0	16.8	0.2	16.7	16.9	▲0.2
	穂数(本/m ²)	639	673	▲34	684	783	▲99
	一穂粒数(粒)	50.2	50.8	▲0.6	45.8	43.0	2.8
収量構成要素	m ² 当たり粒数(×100)	321	340	▲19	313	336	▲23
	稔実歩合(%)	96.2	95.7	0.5	94.9	93.0	1.9
	m ² 当たり稔実粒数(×100)	309	325	▲16	297	312	▲15
	同上比(%)	95	100	▲5	95	100	▲5
	登熟歩合(%)	89.4	89.0	0.4	83.4	83.9	▲0.5
	粒摺歩合(%)	82.0	81.1	0.9	77.7	78.7	▲1.0
	屑米歩合(%)	1.9	1.8	0.1	5.5	3.6	1.9
	精玄米千粒重(g)	23.4	22.4	1.0	23.7	22.7	1.0
収量	藁重(kg/a)	69.6	65.3	4.3	62.3	62.6	▲0.3
	精粒重(kg/a)	79.4	83.3	▲3.9	75.1	79.3	▲4.2
	精玄米重(kg/a)	66.7	68.1	▲1.4	59.7	62.7	▲3.0
	屑米重(kg/a)	1.3	1.2	0.1	3.4	2.4	1.0
	収量平年比(%)	98	100	▲2	95	100	▲5
	検査等級(等)	1	1下	-	1下	2上	-

注1) 平年値は前7か年中、令和元年(最凶年)、令和6年(最豊年)を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より“減”を示す。

3) 育苗耕種概要 育苗様式: 成苗ポット苗

施 肥: 成苗培土Hを約1.43(kg/箱)充填、

成分量 N 0.5、P₂O₅ 1.0、K₂O 0.8、MgO 0.2(g/箱)、

置床 N 25.0、P₂O₅ 0.0、K₂O 5.0(g/m²)

4) 本田耕種概要 栽植密度: 25.3株/m²(33.0cm×12.0cm)、3本植

施 肥 量: N 8.0、P₂O₅ 9.7、K₂O 6.9(kg/10a)、堆肥 0(kg/10a)

5) 精玄米千粒重および精玄米重: 網目1.90mm以上、水分15%換算。

2) 秋まき小麦 不良

事由： 播種は平年より4日早い9月13日に行った。その後、気温が平年並に推移し、適度な降雨もあったことから出芽期は平年より6日早かった。出芽期以降も気温が平年並からやや高く推移したことから、越冬前の茎数は平年をかなり上回った。

平年と比較して、根雪始は6日、根雪終は2日遅く、積雪期間は4日短い131日であった。雪腐病発病度は並で、越冬茎歩合はやや低かった。気温は平年並みから高い傾向で推移したことから生育が順調に進み、出穂期は平年より2日早かった。草丈は平年並で、茎数は平年を上回った。

成熟期は平年より6日早かった。成熟期の稈長は平年より長く、穂長は平年並で、穂数は生育期間を通して茎数が多く推移し、有効茎歩合も高かったことから平年を大きく上回った。稈長が長く、穂数が多いことに加え、6月27日の暴風雨により倒伏が大きく発生した。

平年より千粒重がかなり軽く、子実重は平年を大きく下回った。容積重も平年を下回った。蛋白質含有率は平年をやや上回った。検査等級は1等だった。

これらのことから、本年の作況は「不良」である。

表5. 秋まき小麦の生育および収量

品種名		きたほなみ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期 (月・日)		9.13	9.17	△ 4
出芽期 (月・日)		9.21	9.27	△ 6
出穂期 (月・日)		6.01	6.03	△ 2
成熟期 (月・日)		7.09	7.15	△ 6
越冬茎歩合 (%)		116.9	122.5	▲ 5.6
雪腐病発病度		8.8	5.0	3.8
葉数(枚)	令 6年10月20日	5.1	4.1	1.0
草丈 (cm)	令 6年10月20日	24.8	16.7	8.1
	令 7年 5月20日	69.7	46.7	23.0
	令 7年 6月20日	92.4	90.9	1.5
茎数 (本/m ²)	令 6年10月20日	1198	556	642
	令 7年 5月20日	1552	1055	497
	令 7年 6月20日	833	615	218
成熟期	稈長 (cm)	94	81	13
	穂長 (cm)	8.7	8.6	0.1
	穂数 (本/m ²)	818	510	308
子実重 (kg/10a)		533	571	▲ 38
同上平年比 (%)		93	100	▲ 7
容積重 (g/L)		806	841	▲ 35
千粒重 (g)		30.9	41.7	▲ 10.8
蛋白質含有率 (%)		10.1	9.1	1.0
検査等級 (等)		1	1	—

注1) 平年値は前7か年中、収穫年における令和5年（最豊年）、平成30年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より“減”を示す。

3) 春まき小麦 やや不良

事由： 播種は平年より6日遅い4月24日に行った。播種の遅れを反映して出芽期も平年より4日遅く、草丈、茎数とも平年を下回った。その後も生育は順調に進み、出穂期は平年より1日早い6月17日だった。

成熟期は平年より4日早かった。6月下旬以降、気温がかなり高く推移したことから、穂数は平年よりやや多かった。稈長は平年よりやや短いが、穗長は平年並であった。登熟期間は平年より3日短かった。子実重は平年比96%とやや低収であった。容積重は平年並みで千粒重と蛋白質含有率は平年を下回った。検査等級は平年並の1等であった。

これらのことから、本年の作況は「やや不良」である。

表 6. 春まき小麦の生育および収量

品種名		春よ恋		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期 (月・日)		4.24	4.18	6
出芽期 (月・日)		5.06	5.02	4
出穂期 (月・日)		6.17	6.18	△ 1
成熟期 (月・日)		7.22	7.26	△ 4
草丈 (cm)	5月20日	19.9	21.9	▲ 2.0
	6月20日	82.3	80.2	2.1
茎数 (本/m ²)	5月20日	391	650	▲ 259
	6月20日	559	752	▲ 193
成熟期	稈長 (cm)	89	93	▲ 4
	穗長 (cm)	8.2	8.3	▲ 0.1
	穂数 (本/m ²)	573	508	65
子実重 (kg/10a)		430	447	▲ 17
同上平年比 (%)		96	100	▲ 4
容積重 (g/L)		820	824	▲ 4
千粒重 (g)		35.8	38.7	▲ 2.9
蛋白質含有率 (%)		10.8	11.5	▲ 0.7
検査等級 (等)		1	1	—

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

4) 大豆 良

事由 : 播種は平年より3日早い5月16日に行った。出芽期は平年より2日遅い6月1日であった。開花期は平年より4日早かった。6月下旬以降、気温がかなり高く推移したことから、生育は順調に進み、主茎長は平年に比べかなり長く、主茎節数はやや多く、分枝数は平年並みで、着莢数はかなり多かった。

成熟期は平年より1日早かった。8月下旬以降、降水量が多く推移し、倒伏が見られた。成熟期の莢数が多く、子実重は平年比123%と多収であった。百粒重は平年よりやや重く、屑粒率は平年並みであった。検査等級は3等下であった。

これらのことから本年の作況は「良」である。

表7. 大豆の生育および収量

品種名		ユキホマレ		
項目 / 年次		本年	平年	比較
播種期 (月・日)		5.16	5.19	△ 3
出芽期 (月・日)		6.01	5.30	2
開花期 (月・日)		7.06	7.10	△ 4
成熟期 (月・日)		9.13	9.14	△ 1
主茎長 (cm)	6月20日	16.3	14.7	1.6
	7月20日	74.2	56.4	17.8
	8月20日	75.1	59.6	15.5
	9月20日	75.3	58.2	17.1
	成熟期	75.3	58.2	17.1
主茎節数 (節)	6月20日	4.1	3.9	0.2
	7月20日	10.9	9.6	1.3
	8月20日	11.0	10.3	0.7
	9月20日	10.7	10.2	0.5
	成熟期	10.7	10.2	0.5
分枝数 (本/株)	7月20日	7.2	5.9	1.3
	8月20日	6.2	6.5	▲ 0.3
	9月20日	6.3	6.1	0.2
	成熟期	6.3	6.1	0.2
着莢数 (個/株)	8月20日	109	81	28
	9月20日	107	81	26
	成熟期	107	81	26
子実重 (kg/10a) 同上平年比 (%)		498	406	92
		123	100	23
	百粒重 (g)	33.8	33.1	0.7
	屑粒率 (%)	1.1	1.4	▲ 0.3
検査等級 (等)		3下	2中	

注1) 平年値は前7か年中、令和5年(最豊年)、令和3年(最凶年)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”を示す。

5) 小豆 不良

事由：播種は、平年より1日早い5月23日に行った。気温が高く推移したことから生育が順調に進み、開花期は平年より3日早かった。7月下旬以降気温は高く推移し、7月中旬の降雨により得た土壤水分や8月中旬の降雨による土壤水分も十分にあったことから地上部生育が旺盛となり、主茎長は平年よりかなり長く、本葉数および分枝数は平年より多く、倒伏が目立った。また、高温の影響と考えられる落花・落莢により着莢が緩慢となり、着莢数は平年を下回った。

成熟期は平年より10日早かった。主茎長は平年よりかなり長く、主茎節数、分枝数も多かった。着莢数は平年を下回った。百粒重も平年よりやや軽く、子実重は平年比92%であった。屑粒率は平年よりやや高かった。検査等級は平年並の3等上であった。

これらのことから、本年の作況は「不良」である。

表8. 小豆の生育および収量

品種名		エリモ167		
項目 / 年次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.22	5.23	△ 1
出芽期 (月.日)		6.05	6.07	△ 2
開花期 (月.日)		7.20	7.23	△ 3
成熟期 (月.日)		8.31	9.10	△ 10
主茎長 (cm)	6月20日	5.2	5.3	▲ 0.1
	7月20日	33.7	25.9	7.8
	8月20日	77.5	63.7	13.8
	成熟期	82.0	69	13.0
本葉数 (枚)	6月20日	1.4	1.1	0.3
	7月20日	10.0	8.1	1.9
	8月20日	16.1	13.1	3.0
主茎節数 (節)	成熟期	16.9	13.1	3.8
分枝数 (本/株)	7月20日	5.6	5.8	▲ 0.2
	8月20日	7.5	5.8	1.7
	成熟期	6.4	5.7	0.7
着莢数 (個/株)	8月20日	56	59	▲ 4
	成熟期	48	54	▲ 6
子実重 (kg/10a)		304	331	▲ 27
同上平年比 (%)		92	100	▲ 8
百粒重 (g)		12.8	13.8	▲ 1.0
屑粒率 (%)		4.7	3.2	1.5
検査等級 (等)		3上	3上	-

注1) 平年値は前7か年中、平成29年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

6) ばれいしょ 平年並

事由： 植付けは平年並の5月9日に行った。植付け後、5月中旬の気温が高く推移したことから、萌芽期は平年より4日早かった。6月中旬以降気温が高く推移したことから、開花始めは平年より2日早かった。茎長は平年より長かった。7月中旬以降は日照時間が少なかったことから枯ちよう期は平年並となった。

上いも数は平年を上回ったが、上いもの平均重はわずかに下回り、上いも収量、中以上いも収量、規格内いも収量はそれぞれ平年比115、111、95%であった。でん粉価は6月下旬から7月上旬にかけて日照時間が多く推移したことから、当初は平年をやや上回っていたが、その後日照時間の少なさと高温の影響により低下していき、枯凋期の値は平年を1.3ポイント下回った。

これらのことから、本年の作況は「平年並」である。

表9. ばれいしょの生育および収量

品種名		男爵薯		
項目／年次		本年	平年	比較
植付期（月・日）		5.09	5.09	0
萌芽期（月・日）		5.24	5.28	△ 4
開花始（月・日）		6.20	6.22	△ 2
枯凋期（月・日）		8.25	8.25	0
茎長 (cm)	6月20日 7月20日	30.3 52.7	32.0 46.8	▲ 1.7 5.9
上いも数 (個/株)	7月20日 8月20日	10.8 11.7	8.3 9.7	2.5 2.0
上いもの 平均重(g)	7月20日 8月20日	58 85	73 100	▲ 15 ▲ 15
上いも収量 (kg/10a)	7月20日 8月20日	2803 4437	2657 4223	146 214
でん粉価 (%)	7月20日 8月20日	15.5 13.4	14.5 14.6	1.0 ▲ 1.2
収穫期	上いも数(個/株)	11.6	10.0	1.6
	上いもの平均重(g)	101	103	▲ 2
	上いも収量(kg/10a)	5191	4525	666
	同上平年比(%)	115	100	15
	中以上いも収量(kg/10a)	4523	4072	451
	同上平年比(%)	111	100	11
	規格内いも収量(kg/10a)	3459	3657	▲ 198
	同上平年比(%)	95	100	▲ 5
	でん粉価(%)	13.0	14.3	▲ 1.3

注1) 平年値は前7か年中、令和4年(最豊年)、平成30年(最凶年)を除く5か年の平均値。